

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

1 デジタル技術の活用による行政サービスの推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|-----------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| オンライン化（電子申請）手続数 | 16手続 | 61手続 | | | | 100手続 |

| 施策 | 行政手続のオンライン化 |
|------------|--|
| 概要 | <p>子育て・介護関係の26手続について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたオンライン手続（電子申請）を令和4年度（2022年度）末までに導入します。</p> <p>また、それ以外の各種行政手続についても、オンライン化を推進し、市民等の利便性向上を図ります。</p> |
| 令和4年度の主な実績 | <ul style="list-style-type: none"> 伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定 汎用電子申請システムを導入 申請管理システムを導入（子育て・介護関係の26手続（伊東市は24手続）について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたオンライン手続（電子申請）を導入） |
| 評価 | <p>伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定及び汎用電子システムの導入により、オンライン化手続数を増加することができました。また、計画通り、子育て・介護関係の26手続（伊東市は24手続）について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたオンライン手続（電子申請）を導入しました。</p> |
| 今後の予定 | <p>汎用電子申請システムの更なる利用を呼びかけ、電子申請の利用拡大に努めます。</p> |

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

1 デジタル技術の活用による行政サービスの推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|---------------|---------------------|---------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| マイナンバーカード交付枚数 | 令和3年12月末 22,635枚 | 41,714枚 | | | | 全市民 |

| 施策 | マイナンバーカードの普及・利用促進 |
|------------|--|
| 概要 | <p>マイナンバーカードはオンラインで確実に本人確認ができ、デジタル社会の基盤となるものです。国は、令和4年度(2022年度)末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指しています。</p> <p>本市では、マイナンバーカード交付円滑化計画に基づき、広報紙等によるマイナンバーカードの取得勧奨や交付窓口の時間延長等により、継続的にマイナンバーカードの取得率向上を図ります。</p> <p>また、マイナンバーカードの取得により、住民票等のコンビニ交付サービスが利用できることを広報し、利用促進を図ります。</p> |
| 令和4年度の主な実績 | マイナンバーカードの出張申請や交付窓口の時間延長を実施 |
| 評価 | マイナンバーカードの出張申請や交付窓口の時間延長などを実施することにより、マイナンバーカードの交付枚数を大幅に増やすことができました。 |
| 今後の予定 | 引き続き、マイナンバーカードの取得率向上を図るとともに、マイナンバーカードの取得により、住民票等のコンビニ交付サービスが利用できることを広報し、利用促進を図ります。 |

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

2 情報システムの標準化・共通化の推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| 標準化・共通化に対応済みの業務数 | 0業務 | 0業務 | | | | 20業務 |

| 施策 | 基幹系情報システムの標準化・共通化 |
|------------|--|
| 概要 | <p>本市の基幹系情報システムは、ノンカスタマイズを基本とした「熱海市・伊東市・函南町自治体クラウドシステム」を令和3年（2021年）8月30日から運用していますが、国は、令和7年度（2025年度）までに全国の自治体が、「Gov-Cloud（ガバメントクラウド）」上で国が提示する標準仕様に適合した基幹系情報システムを利用する形態に移行することを目指しており、本市においても対応を図っていきます。</p> |
| 令和4年度の主な実績 | <ul style="list-style-type: none"> 標準化・共通化対象業務担当者を選任し説明会を実施 県デジタル戦略課の標準化・共通化市町支援事業の活用や既存システムベンダの協力を得て、現行システムの調査、分析を実施 |
| 評価 | <p>令和7年度の標準システムへの移行と運用開始を目指して、計画通りに進めています。</p> |
| 今後の予定 | <p>現行システムの調査・分析を実施、文字標準化対応委託事業の実施、標準化に向けた移行計画を策定、標準化対応を実施するシステムベンダの選定準備を行います。</p> |

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

3 業務のデジタル化とテレワーク等の推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| AI・RPA等活用業務数 | 0業務 | 1業務 | | | | 10業務 |

| 施策 | AI・RPA等の推進 |
|------------|---|
| 概要 | <p>会議や打ち合わせの音声データを認識し、文字起こしする音声認識技術（AI）を活用した会議録作成システムを導入し、業務の効率化を図ります。</p> <p>また、RPAをはじめとする新たな技術やシステムを導入し、業務の効率化を推進します。</p> <p>※RPAとは、ソフトウェアロボットを活用した業務自動化技術のこと。事前に設定した実行手順に従ってコンピュータの操作を自動実行する仕組みで、業務システムにおいて人間が行ってきた定型的な操作やデータ入力等の作業を自動化することができる。</p> |
| 令和4年度の主な実績 | 音声認識技術（AI）を活用した会議録作成システムを導入 |
| 評価 | 計画通り、音声認識技術（AI）を活用した会議録作成システムを導入できました。 |
| 今後の予定 | <ul style="list-style-type: none"> 音声認識技術（AI）を活用した会議録作成システムについて、録音環境によって変換精度が大きく異なることから、システムパフォーマンスが発揮される環境を周知することで利用回数の向上につなげます。 RPAの導入を検討します。 |

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

3 業務のデジタル化とテレワーク等の推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|-----------|--------------------|------------|-------|-------|-------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 目標値 令和7年度 |
| Web会議利用回数 | 令和3年1月～12月 699回 | 年間 878回 | | | | 年間 800回 |

| 施策 | Web会議の推進 |
|------------|--|
| 概要 | <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、Web会議の利用が進みました。それに伴い会場の準備や参集にかかる時間と旅費がなくなり、費用の削減効果が大きく、業務効率も上がることから、今後も積極的に利用を推進していきます。</p> |
| 令和4年度の主な実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 回線の敷設 ・ Web会議用の機材（スピーカー等）を整備 |
| 評価 | <p>積極的にWeb会議を利用しているため、目標を達成しています。</p> |
| 今後の予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ より多くのWeb会議を行うことができるように端末の増設を検討します。 ・ Web会議を行うことができる会議室増設を検討します。 ・ 様々な会議で積極的にWeb会議を利用します。 |

4 データ利活用の推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|-------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| オープンデータ公開件数 | 令和3年12月末 76件 | 117件 | | | | 110件 |

| 施策 | オープンデータの推進 |
|------------|--|
| 概要 | 「伊東市オープンデータの推進に関する運用方針」に基づき、本市が保有する公共データを機械判読に適したデータ形式で公開する取組を推進することにより、行政の透明性及び信頼性の向上、市民・企業等との協働の推進と地域課題の解決等につなげます。 |
| 令和4年度の主な実績 | 国が示した「推奨データセット」を中心に公開件数を増やし、「推奨データセット」については全ての項目について公開完了 |
| 評価 | 積極的にオープンデータの公開を行ったため、目標を達成しています。 |
| 今後の予定 | 国が令和5年3月に示した「標準データセット」の公開に努めます。 |

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

5 デジタル化を支える環境整備の推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|-----------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| 情報流出事故件数 | 0件 | 1件 | | | | 0件 |

| 施策 | 情報セキュリティ対策の推進 |
|------------|--|
| 概要 | 市の情報資産を適切に保護し、安全に業務を遂行するため、総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえ、適宜、本市の情報セキュリティポリシーの見直しを図り、セキュリティ研修を実施し、情報セキュリティ対策を推進します。 |
| 令和4年度の主な実績 | <ul style="list-style-type: none"> 伊東市情報セキュリティポリシーを改定 情報セキュリティ研修を実施 |
| 評価 | 情報セキュリティインシデントの発生により、目標は達成できませんでしたが、インシデント発生後に情報セキュリティ対策の見直しを行い、適切に実施しています。 |
| 今後の予定 | <ul style="list-style-type: none"> 総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえ改定を検討し、必要に応じて改定します。 情報セキュリティ研修について、リモートラーニングを取り入れ、対象の受講者を拡大して実施します。 |

令和4年度 伊東市DX推進計画に係る成果指標(KPI)・評価・今後の予定

5 デジタル化を支える環境整備の推進

| 成果指標(KPI) | | | | | | |
|--------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 指標名 | 基準値 令和3年度 | 令和4年度末 | 令和5年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末 | 目標値 令和7年度 |
| DX推進関連研修の受講職員数（延べ） | 7人 | 197人 | | | | 500人 |

| 施策 | デジタル人材の育成 |
|------------|--|
| 概要 | DXの推進に当たっては、職員のデジタルリテラシーの向上、自らの業務をより良いものに変革していくというマインドセットとスキルの習得が求められることから、職員研修の実施を推進します。 |
| 令和4年度の主な実績 | DX機運醸成研修、電子申請システムの操作研修、CMS（ホームページ作成システム）の操作研修などを実施 |
| 評価 | 新たなDX機運醸成研修や電子申請システムの操作研修、CMS（ホームページ作成システム）の操作研修など、計画通り多くの研修を実施しています。 |
| 今後の予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX研修（認識共有・機運醸成）を行います。 ・汎用電子申請システムの研修を行います。 ・ホームページのCMSの操作研修を行います。 |